

第7次総合計画市民委員会報告

総合計画の策定を市民と協働して推進するため、各分野の15名からなる市民委員会を3月に設置し、これまで7回にわたり会議を重ね、多治見市のまちづくりについて議論をいただき、総合計画（後期計画）の素案をまとめてきました。

8月23日の委員会の最終回では、委員会から市政への意見が市長へ報告されました。

今後の市政への期待（抜粋）

① 地域力、人財育成について

- ・市の職員には地域に足を運び、市政や地域との接点が少ない市民も積極的に巻き込み、「共につくる」を実践していくことを望みます。
- ・まちづくりは人づくりだと思います。主体的にまちづくりに関わられるよう、市民と企業、市政、地域とを繋ぐ役割を市に期待します。

② 子育て、教育について

- ・子育てに対する負担、不安、孤独感がある中で、親の気持ちを前向きにする取組みが進んでいます。引き続き子育て家庭への支援の充実に期待します。
- ・多治見市の子どもたちが、いろいろな分野で岐阜県の中で一番になろうと思える環境の整備に期待します。

③ シティプロモーション、移住定住について

- ・一つは企業に選ばれるまち、もう一つは住む場所として選ばれるまちとなるための取組みを進め、若者が戻って来られる場がつくられることに期待します。
- ・多治見市は、都会も近く、産業もあり、観光資源もあり、緑も川もあります。こうした多治見市の良いところを市民が共有することを望みます。



市民・地域・関係団体などとの連携を意識し、それぞれの強みや力を活かして事業を実施していきます。